2025年3月6日
第26号
西南中生徒指導部通信
文責　松浦

必然は必ずやってくる

参考文献
「心を高める、経営を伸ばす」
稲盛和夫

鳥たちへ

明日はいよいよ卒業式ですね。三年生にとっては、三年間かけて描いてきた、**自分という「竜」の絵に、最後の「瞳」を描き入れる時**となりました。

まさしく、**画竜点睛(がりょうてんせい)**の時です。

しっかり最後のまとめとなる「瞳」を入れて、竜のように羽ばたいていくか、いい加減な「瞳」を描き入れて、自分が積み上げてきた作品を台無しにしてしまうのか…、それは**あなた次第**です。

三年前、あなたたちと先生は**「偶然の出逢い」**によって出逢いました。ただ、その時から、この三月に別れるという**「必然の別れ」**が訪れることは分かっていました。

大事な卒業式では、生徒も先生も、出逢って今まで積み上げてきたことが問われることになります。

その別れが、「お互いの今までのことを懐かしんで、感謝し合い、許し合い、これからの幸せを祈りながら、再会を約束する」…、そんな別れでありたいと願うばかりです。

四月から三年生は、また**新しい出逢い**があるでしょう。

悪い人や悪いことの出会いは、いつも**後ろから「忍び足」で、自分が望まなくても**勝手に近づいています。自分から寄って行かなくても、**後ろからおいかぶさってきます。**

だから、寄ってこられないように、**後ろ姿(生き方・生き様)**、すなわち**自分の日頃の立ち居振る舞い**が大事になってきます。

逆に、良いことや良い人(出逢い)は、必ず**「前」からやってきます。必ず、正々堂々と胸を張ってやってこられます。**

前からやってくるその「出逢い」(ご縁)をどれだけしっかり受け止められるかが大事になります。

だからこそ、**日頃の「気づく力」(感受性)**が大事になってきます。

前から堂々と歩いてくる良い縁を自分で受け止められるか、悪い縁におおいかぶされるか…

これにより、あなたの人生は大きく変わるでしょう。

良いこと、大切なことは**「目に見えない」**ことが多いようです。だから、自分がどれだけ**「感じるか」が大事**なのです。

寝ても覚めても、何かを想っている人は、**人が見えないものが見えてきます。**

反対に、毎日ぼ～と生きている人、気づく力のない人は、どんなに良い出逢いが前から自分に向かって歩いてきても、見えないし、気づかないのです。

良い人との出逢いは、その人から、**「目からウロコが落ちるような経験」をさせてもらい、自分の人生をワンランク上に引き上げてくれます。**

その為には、例え途中でどんなに苦しいことがあっても、**「これは自分にとって意味のあることなんだ」と思う習慣**をつくることです。

だから、**「辛いときこそ、ありがとう」**なのです。

そういう人は、良い出逢いを決して逃しません。

「人は、逢うべき人には、必ず逢える。
それも一瞬早すぎず、一瞬遅すぎず。」

卒業生の明るい未来を祈っております。